

# 文化・スポーツ

## 文化を楽しみ創造するまちづくり

文化や芸術活動に参加することは、私たちの日常に楽しさや生きがい、喜びをもたらす。時に生きる力を与えてくれます。市では、平成28年4月に文化振興条例を施行、平成29年6月には文化振興基本計画を策定し、文化振興施策を総合的に推進しています。計画に掲げる基本理念「すべての市民が文化を楽しみ、創造できるまち 舞鶴」 「まちを誇りに思い、愛着が感じられる文化都市 舞鶴」の実現を目指し、市民や地域、団体等との協働により、全ての市民が文化芸術に出会う機会の創出、市民文化創造活動の活性化に取り組んでいます。



▲舞鶴市展



▲アート・プログラム・デリバリー事業



▲文化の見本市



▲アートスタート事業



▲公共ホール音楽活性化支援事業

## 田中彩子さん「舞鶴市文化親善大使」に就任

令和3年、文化のさらなる発展と創造力を育み、都市としてのブランド力の向上につながることを目的に「舞鶴市文化親善大使」を本市出身で世界的に活躍されているソプラノ歌手田中彩子さんに委嘱しました。文化親善大使の活動を通じ、子ども達に夢や希望をもって生きることの素晴らしさを伝えるほか、市民が文化に触れる機会を増やし、文化力の育成を図ります。



## 総合文化会館大ホールがリニューアル

総合文化会館は、昭和58年10月に竣工し、築30年が経過したことから、長寿命化と機能向上を図るため大ホールの大規模改修を実施。天井の耐震化対策を行うとともに、舞台設備の改修など音響改善を図ったほか、1階全座席を更新し、よりゆったりと鑑賞できるように整備し、トイレの洋式化や客席と舞台をつなぐ花道の新設など施設全体

のバリアフリー化を実施して、平成27年6月にリニューアルオープンしました。また、市民会館は昭和43年の開館以来、文化や芸術の拠点として利用されてきましたが、築後46年が経過したことで老朽化が進み、施設の継続した運営が難しいことから平成28年2月末に閉館しました。



▲リニューアル後の大ホール



▲閉館した市民会館





▶ T-BOLAN コンサート

シングル全曲披露  
初めて最後のシングル・ベストツアー開催

### 舞鶴ミュージックコミッション

音楽・エンターテイメント業界と連携し、地域の魅力を活かした新たな観光「ミュージックツーリズム」を実現するため、平成30年5月に市と市観光協会、市商工会議所などで舞鶴ミュージック

コミッション(MC)を設立。都市部に集中する音楽フェスやライブ、合宿などを地方都市に誘致するなど、地域に新しいエンターテイメント文化の潮流を創ります。

### 舞鶴フィルムコミッション

美しい赤れんが建造物や古くからのまち並み、漁師町の情緒が残る吉原地区等、他の地域でもなかなか目にするできないロマンティックなまち並みが多く残る舞鶴。地域の誇りである素晴らしい風景や歴史文化などを映画やドラマ等の撮影に活用してもらえよう平成14年に立ち上がった舞鶴フィルムコミッションを通じ、21年間で382もの作品が舞鶴市で撮影されました。映画等のロケ地や宣伝発信することで舞鶴のPRになるだけでなく、素晴らしい作品の舞台となったということがふるさとへの愛着の醸成につながる重要な取り組みとなっています。



映画「ラーゲリより愛を込めて」の瀬々敬久監督と舞鶴引揚記念館の学生語り部とのトークセッションのほか、公開記念事業として舞鶴と東京で連携展示会などを開催しました。



▲高等学校軽音楽コンテスト近畿北陸大会  
舞鶴では5回の開催、北陸と近畿の高校生が交流。



▲赤れんが博物館前広場スペシャルライブ(令和5年9月)  
南野陽子さんらによるコンサート。舞鶴をテーマにしたオリジナル曲が市に贈呈されました。



▲舞鶴西港で開催された15,000人が集う大規模音楽フェス(令和5年4月)



▲東郷邸(天外者)



▲赤れんがパーク・国3棟(日本のいちばん長い日)



▲田井漁港(海賊とよばれた男)



▲北吸トンネル(わたしの幸せな結婚)



### 歴史文化遺産を活かしたまちづくり

市では歴史文化遺産を保存活用するためのアクションプランとして「舞鶴市文化財保存活用地域計画」を令和3年に策定しました。この計画に基づき、市では舞鶴が有する豊かな歴史文化遺産を地域のタカラモノとして育み、市民が誇りを感じる心豊かな社会を形成するため、「歴史文化の魅力を探り、学び、活かし、引き継ぐ」ことを基本理念として多様な歴史文化遺産を関連付けながら保存活用するまちづくりを進めていきます。

#### 文化財の保護・活用

舞鶴市指定文化財の件数は、建造物や絵画などの美術工芸品、民俗文化財、天然記念物など123件(令和5年4月1日現在)。国指定・登録等文化財45件と府指定・登録等文化財87件と併せ、市全域に多くの文化財が点在しており、かけがえのないこれら文化財を全市民の財産として保護しています。



▲市指定文化財糸井文庫錦絵(安寿姫と対王丸)



▲まいづる細川幽斎田辺城まつり大名行列



▲平成29年に市の文化財に指定された「明倫小学校正門」

### 郷土資料館

#### リニューアルオープン

西総会館内に平成28年リニューアルオープンしました。舞鶴の歴史文化遺産の特徴の一つ、海との関わりを示す鏡や玉類の祭祀道具、縄文時代から平安時代までの考古資料、日本海海運を示す北前船の展示、そして城下町田辺の歴史資料のほか、丹後にまつわる錦絵などのコレクションである糸井文庫なども展示しています。また、現在まで伝承されている「松尾寺の仏舞」や「城屋の揚松明」などの祭礼芸能も含め舞鶴の豊かな歴史文化遺産の魅力を紹介しています。



▲リニューアルした郷土資料館

### 赤れんがの空間を活用

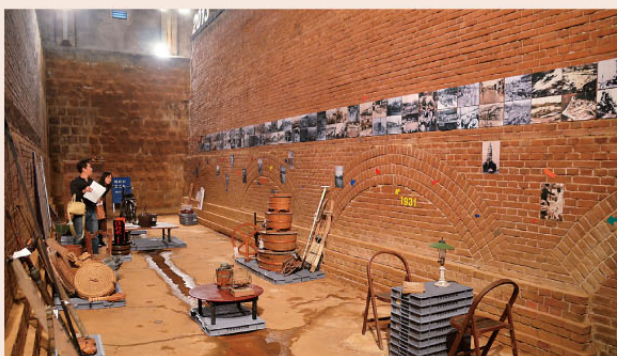
平成20年に現存する赤れんが倉庫12棟のうち、7棟の倉庫と1棟の附(つけたり)の8棟が国の重要文化財に指定され、平成24年にこれら文化財を活用した交流拠点として舞鶴赤れんがパークがグランドオープン。文化芸術の創造の場としても活用されています。



▲サマーイルミネーション(平成26年～平成29年)



▲田主誠「心の旅」版画館(平成25年～平成29年)



#### 時間旅行博物館

北吸浄水場配水池で開催された舞鶴の過去、現在、未来を巡る市民参加型のアートプロジェクト。



#### ジャズライブ

平成3年から20年間開催された赤煉瓦ジャズライブ。その後は赤れんがSummerJazz+などが開催されている。ジャズピアニスト山下洋輔さんは過去7回公演を開催。

### 多世代交流施設「まなびあむ」オープン

市民病院跡地利用方針に沿って、市民の健康増進と多様な交流・にぎわいの拠点として、令和3年7月に多世代交流施設「まなびあむ」がオープンしました。まなびあむの2・3階には公共施設である「まなびあむ」や新舞鶴・三笠地域包括支援センターを整備。

1階にはJA京都にのくに舞鶴東支店と同彩菜館、カフェのBistro&、4階には宿泊機能も備えた若者等交流施設「GATEWAY MAIZURU」が入っている多世代交流施設です。







平成27年夏に各競技の高校日本一を決める「全国高等学校総体育大会（インターハイ）」が近畿で開催され、本市ではレスリング競技が実施されました。また、インターハイのプレ大会として、同年春に、「ジュニアクイーンズカップ・レスリング選手権大会」が開催されました。

市では、これら大会が一過性のもとならないよう、レスリング教室の開催、姉妹都市ナホトカ市や東京2020オリンピックのホストタウンとなったウズベキスタ

### 全国高校総体を契機に

スポーツの普及や交流は、健康増進や心身の充実だけでなく、本市を全国に知っていただく絶好の機会にもなっています。平成25年10月に市制施行70周年記念事業として創設された「舞鶴赤れんがハーフマソン」は、国の重要文化財である赤れんが倉庫群をはじめ

### 赤れんがハーフマソンの開催

め、海上自衛隊の護衛艦や哨戒ヘリコプターを間近に見ながら疾走できる全国でも例のないユニークなコースが魅力であり、市民をはじめ全国各地から多くのランナーが参加し、潮風と声援を受けながら駆け抜けました。



▲インターハイ

ン共和国とのレスリング競技を通じた交流などの取組を進めてきました。

また、平成26年に文化公園体育館の大規模改修にあわせてアリーナにエアコン設備を導入し、大規模大会の開催等に向けた環境整備を図るとともに、令和3年には、公共施設としては数少ないレスリング場をオープンしました。



### 「舞鶴レスリングクラブ」の設立

「世界にタックル」を合言葉に、舞鶴や近隣市の幼年から中学生までの子ども達が、個々の目標に向けて楽しく活動しています。



▲レスリング場



平成28年4月、海軍鎮守府開庁から軍港都市として同様の歴史を持つ横須賀市、呉市、佐世保市とともに申請した「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴」日本近代化の躍動を体感できるまち」の歴史ストーリーが文化庁の「日本遺産」に認定されました。

四市では「旧軍港市日本遺産活用推進協議会」を設立。首都圏での共同プロモーションや日本遺産 MONTH の開催、ガイドブックの作成など日本遺産ブランドを活かした魅力の発信に四市が連携して取り組んでいます。



▲日本遺産 MONTH（非公開ツアー）

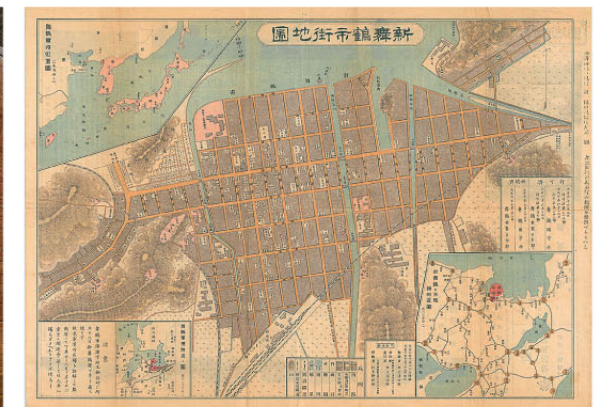
### 「日本の20世紀遺産20選」に選定

平成29年12月、文化遺産保存分野の専門家等で構成される日本イコモス国内委員会が選ぶ「日本の20世紀遺産20選」に「舞鶴の海軍施設と都市計画」が選ばれました。舞鶴鎮守府の設置に伴い建設

された赤れんが倉庫群や水道施設などの海軍施設と新たに造成された東地区市街地の格子状の街路が、人類の歴史の重要な段階を物語る遺産として認められたものです。



▲北吸浄水場配水池内部



▲大正6年の新舞鶴市街地図（現東地区市街地）



### 世界で活躍された皆さん

平成26年～令和5年における、舞鶴市優秀スポーツ賞の「特別賞」及び「特別優秀賞」の受賞者（敬称略）



**LA CLASSIC YU-J (濱)  
YOSSHI. (愛宕)**

フリースタイルフットボール競技  
【大会名・成績】◇スーパーボール2022…ダブルルーティン部門優勝◇スーパーボール2023…ダブルルーティン部門準優勝 など



**亀井美尚 (上福井)**

水泳競技  
【大会名・成績】2018年度日本マスターズ水泳短水路大会…200m男子85歳～89歳個人メドレー 世界新記録3分48秒20



**鍵本彩夏 (城北中出身)**

水泳競技  
【大会名・成績】第10回アジアエイジグループ選手権大会…平泳ぎ50m優勝、100m優勝、200m優勝、4×100mメドレーリレー 優勝



**井上愛里沙 (西舞鶴高出身)**

バレーボール競技  
【大会名・成績】◇令和3年度天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会…優勝・MVP◇FIVBバレーボールネーションズリーグ2023…7位 など



**内田颯夏 (明倫小出身)**

レスリング競技  
【大会名・成績】◇2022年U17世界選手権…女子57kg級 優勝◇2023年U17世界選手権…女子57kg級 優勝



**内田菜楓 (明倫小出身)**

レスリング競技  
【大会名・成績】2022年U15アジア選手権…女子36kg級 優勝



**森脇花乃 (城北中)**

レスリング競技  
【大会名・成績】2023年U15アジア選手権…女子58kg級 優勝



**谷優希 (西舞鶴高出身)**

野球競技  
【大会名・成績】第4回WBSC U-23ワールドカップ…優勝



▲人工芝グラウンド

平成30年春に「伊佐津川運動公園」が全面オープンしました。園内には、府北部では初めてとなるフルサイズのサッカー場として利用できる人工芝グラウンドをはじめ、土の多目的グラウンドやクレーテニスコート、芝生広場などを整備。さまざまなスポーツを楽しむだけでなく、交流・憩いの場としても気軽に利用できるようになりました。

### 伊佐津川運動公園全面オープン



(c) KYOTO.P.S

令和元年9月に、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)の京都サンガF.C.のホームタウンに加入。スポーツの普及や地域住民の健康増進、青少年の健全育成や地域活性化などを目的に、ホームタウンデーの開催や試合観戦のための応援列車の企画運行、サッカー教室などの取組を進めています。

### 京都サンガF.C.のホームタウンへ加入



平成26年～28年に、男子プロバスケットボールリーグ(Bリーグ)の京都ハンナリーズのシーズン公式戦が舞鶴文化公園体育館で行われ、プロスポーツ選手の対決を間近で見ることができました。また、エキシビジョンゲームとして市内の小学生チームの試合も行われたほか、オープニングセレモニーやハーフタイムイベントなどもあり、会場を訪れた皆さんも一体となってゲームを盛り上げました。

### 京都ハンナリーズの公式戦が舞鶴で

### 奈良ドリーマーズとの連携協定

令和4年4月に、バレーボールリーグ(Vリーグ)の奈良ドリーマーズと、スポーツの普及・発展や青少年の健全育成、地域社会の発展を目的に包括連携協定を締結し、サブホームタウンとなりました。文化公園体育館を会場としたホームゲームの開催や、バレーボール教室等の取組を進めています。



### 東京2020オリンピック聖火リレー

令和3年5月25日、26日、東京2020オリンピック聖火リレーが、京都府立京都スタジアム(亀岡市)で行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公道での走行を避け、閉鎖空間となるスタジアムでの代替開催。舞鶴市からは6人が参加し、2日間で約180人がオリンピック聖火をつなぎました。

